

## EGGPLANT

ホームスクール通信 エッグプラント

Nファミリー

2010.9.1

No.74

八月も多くの働きがありました。その概略とそこから考えさせられたことを徒然なるままに：

日曜学校のキャンプで京都府立青少年海洋センターに行きました。行く途中「天の橋立」で昼食をとりました。個人的には二度めで、前回は近くの山に登り「股のぞき」をして絶景を見たのです。ところが今回は、「天の橋立」の端の洲に行ったので、あの絶景を見ることができなかつたのです。初めて行った子どもたちも、そこが日本三景の一つと言われてもピンときません。遠く離れて、また高い所から見なければ、あの景色は見られないからです。あまりにも近すぎてわからないことがある、これが教えられたことです。聖書や創造主についても同じようなことが言えるかもしれません。今の日本で「教会」や「聖書」ということを知らない人はいないでしょう。しかし、それがどのようなものが詳しく、また客観的に知っている人は少数です。私もかつてはそうでした。聖書の中にこんなことが書いていたのか！と驚いたのが三十年前、それから探求が続く、今でもその興味・関心は尽きません。それを他の人にも伝えるのは私たちの喜びであり、責任であるとも思います。

中旬には、広島西集会のサマー・キャンプに語り手として招かれて行きました。十年前の春にもお邪魔しましたが、場所はのと同じYMCAの施

## 夏の思い出と雑感



設でした。今回わかったのですが、あの有名なヴォーリス氏が設計した建物でした。彼は「メソソレータム」(今は商標がロート製薬に移譲されました)でお馴染みの近江兄弟社という会社を作りながら滋賀県を中心に伝道した実業家、建築家です。関西学院大学を初め多くの有名な西洋建築を設計しました。学校、教会、病院、百貨店、住居など彼の設計した建物を保存しているという運動が起きているぐらいです。設計あるところに設計者がいます。設計している現場は見えていなくても、設計されたものを見れば設計者がいることがわかります。すぐれた設計を見れば、設計者の優秀さを垣間見ることができます。聖書に次のようなことがありますが。

「家はそれぞれだれかが建てるのですが、すべてのものを造られた方は神です。」

(ヘブル三章四節)

二泊三日で、聖書のすばらしさをみなで味わいました。これはヴォーリス氏が最も願っていた建物の使われ方なのです。



広島から下関長府に帰省してきました。「帰省」というのは今回で最後になりました。なぜなら九月に両親が大阪に引っ越してくるからです。私は十八年間暮らした下関ですが、両親にとつては七十五年以上暮らしたところです。よく決断したものだと感じます。滞在中、ほとんど家の片付け、引っ越しの準備に追われました。個人のものはないと思いきや、出てくる、出てくる…。小学校のアルバムから集めていたキーホルダー・雑貨まで、それを見ていると懐かしさでつい手が止まって眺めてしまいます。三十年、四十年前のものは記憶からなくなっているように感じるものです。確かに、どんなものがあつたかとか、どんなことを経験したか一つ一つあげてみよ、と言われると簡単には思い出せません。ところが、きっかけになるものを見せられると記憶がパツとよみがえってくるのです。それも細かなことまで思いだされるのです。

個々の人生の中で言ってきたこと、おこなってきたことを、死後、創造主の前で清算しなければならぬと聖書は語ります。正しい審判者なる神の前に出た時私たちはどのように反応するのでしょうか。正義の神の前に人間はみな不完全なものです。神の救いが、私たちに提供されているというのが聖書のグッド・ニュース(福音)です。

「すべての人は、罪を犯したので、神からの榮譽を受けることができず、ただ、神の恵みにより、キリスト・イエスによる贖いのゆえに、価なしに義と認められるのです。」(ローマ三章二三節)

家族キャンプ

H

夏休みの最後、家族で能勢に行ってきました。能勢に着くまでに以前から行きたかった店に立ち寄り、買い物をしたので、本当にキャンプに来たのか？という感じでスタートしました。しかし、キャンプ場に着くと川で遊び、飯ごう炊さんをし、花火をしたりと、キャンプモードにすっかり入っていました。

私が一番楽しかったのは、飯ごう炊さんです。みんなで手分けして作り、おいしいカレーを作ることができ、いつもと一緒にのはずのカレーが一味違っておいしく感じました。

夜は星がすごくきれいに見え、みんなで夜の散歩に行きました。こんなにきれいに輝く星や自然界を見渡している時に感じたことは「神様の創造の素晴らしさ」です。神様がこのすばらしい世界を造られたんだなあと思うと、感動せずにはおれませんでした。

二日目の午前中はアーチェリーとディスクゴルフに初めて挑戦しました。私はアーチェリーのほうが面白かったです。思っていたより、弓が大きく重かったのですが、的に当てることができたときのズバツという音が最高です!!

そして、能勢の一番いいところは涼しかったことです。二日間ですが、大阪の蒸し暑いところから解放され、クーラーをつけなくても自然の涼しきを感じることが出来る森の中で生活することができて、一気に疲れが吹き飛んだように思えました。

たったの二日間でしたが、本当に充実した時を過ごせました。また来年も家族でキャンプに行きたいです。

ホームスクール社会見学(歴史教室)

E

八月二十五日、朝早くから歴史や地理に詳しいMさんと一緒に三重県、岐阜県、愛知県など三県の色々な場所に行きました。まず三重県の「関宿」というところに行きました。そこは唯一歴史的町並みが残っていて、昔の家などがそのまま建っています。普通は左読みの看板が右読みになっているお店もありました。

他にも木曾三川公園の展望タワーに行きました。その高さ六十五mのタワーで木曾三川公園全体を一度に見渡すことができてとっても良い所でした。

また木曾三川治水の恩人と言われている「ヨハネス・デ・レーケ」が作った「船頭平こう門」というこう門も見に行きました。その近くに資料館がありそこにはこう門の設計図などもありました。

しかもMさんが事前に勉強会をしてくださりいろいろなることを教えてもらっていたのでとっても分かりやすかったです。

最後には、名古屋城や桶狭間にも行きました。Mさんに感謝します。



関宿で一休み  
船頭平こう門



家族キャンプ in 能勢。残念なことに、このキャンプ場は今年度いっぱい閉鎖...その分、思いっきり遊びました!

こんなことしました! 行事報告

八月

六〜七日 日曜学校キャンプ

十一〜十四日 バイブルキャンプ (京都府立青少年海洋センター)

二十一日 Jクラブ(色で遊ぼう)

二十五日 M兄妹来訪(歴史教室事前勉強会)

二十七日 O兄妹宅訪問

三十〜三十一日 家族キャンプ

(T家お泊まり(R))

(紀北青少年の家)

(歴史教室(三重・愛知))

(家族キャンプ)

(府立総合青少年野外活動センター)

編集後記

今年は本当に暑い!さらに扇風機を買い、一人一台扇風機完備!と言ってもクーラーよりは経済的。